



総会の開催を待つ

報告—第15回定時総会

周作クラブ会報

(第61号)
2015年11月20日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

第19回「周作忌」特別対談／集い	2・3・4面
総会報告・原点的旅・参加者募集	5・6面
長崎文学館便り	8面
遠藤周作学会報告	9・10面
周作クラブ長崎便り	11面

創立15年、新たななる発展のために

2015年9月29日(火)午後4時半から、東京神田一ツ橋・如水会館において「周作クラブ」第15回定時総会が開かれた。出席者27名、委任状216名(会員総数は394名)で総会は成立し、予定された議題をすべて審議・承認して夕刻5時過ぎに終了した。

如水会館の特別室で行なわれた今年の定時総会には加賀乙彦会長も出席し、定刻、高橋千劍破幹事の開会宣言で会は始まった。

まず、会員担当の宮辺尚幹事から、現在の会員数について報告がなされた。この1年間における入会者は20名、退会者は38名で、総計では18名の減少となった。したがって9月1日現在の会員数は394名。

この報告のあと、幹事会からの推薦で会員の岡田厚美さんが議長として選出され、議事にうつった。

●第1号議案—前年度事業報告

(高橋千劍破幹事)

昨年9月29日の「周作クラブ」総会

から本年8月までの全事業は、9月29日の周作忌、2月1日の新年会、4月18日の文学セミナー、5月17・18日の遠藤文学原点の旅(神戸と有馬温泉)、そして4回の会報発行であることが報告された。

●第2号議案—前年度会計報告

(宮辺尚幹事)

前年度の収入は、前々年度からの繰越をふくめて2,309,718円、支出は1,342,286円。したがって今年度への繰越金は967,432円となること、さらにその内訳が報告されたのち、会計監査の光武喜代人さんから監査報告があり、拍手で承認された(詳細は会報6ページ参照)。

●今年度は「役員・委員」の改選年

ではないため、この報告と承認は行われなかった。(現在の役員・委員については5ページの一覧を参照)。

●第3号議案—今年度事業計画

(高橋・加藤両幹事)

会報の発行(4回)と、1月の新年会、4月の文学セミナー、5月の遠藤文学原点の旅(長崎から大分へ—大友宗麟とペトロ・岐部)、そして遠藤没後20年と『沈黙』刊行50年が重なる年のイベントが計画中であることなど

が発表された。

●第4号議案—今年度予算

(宮辺尚幹事)

今年度の収入見込は、2,180,472円、支出見込は1,598,880円、予備費が581,592円で、その内訳が説明されて承認を受けた。

なお、今年度より、長崎周作クラブ(70名)による会報買上げの実費が一人宛て1,472円に改定(前年度までは1,733円)されたことも報告された。

以上の4議案ですべての審議を終了し、このあと周作クラブ長崎の代表世話人・高尾直子さんが挨拶、ついで関西周作クラブからの近況報告が紹介されて第15回定時総会は午後5時過ぎに閉会した。なお、この日は同会場で6時から周作忌の特別イベント、阿川佐和子さんと遠藤龍之介さんの対談が行なわれ、全130席が周作忌の参加者でまたたくまに埋めつくされた。

(記・加藤宗哉／写真・田村百合子)

◆遠藤家の墓所が変わります。

今年(2015年)12月から

聖イグナチオ教会に。

※詳しくは会報最終面の「お知らせ」欄をごらんください。